

5 - 3 東海・南関東地域の地震活動（1996 年 5 月～1996 年 10 月）

Seismic activity in the Tokai and Southern Kanto Districts

（ May, 1996-October, 1996 ）

気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

第 1 図(a)～(f)は 1996 年 5 月～1996 年 10 月の東海・南関東における月別震央分布，第 2 図(a),(b)は 1996 年 5 月～7 月と 8 月～10 月の 3 か月毎の震央分布を示す。

5 月 27 日に静岡県中部で M4.2 の逆断層型の地震が発生し，その隣接の今まで地震活動のなかった領域で正断層型の M4.4 の地震が 10 月 5 日に発生した(本巻別項の東海地域の地震活動の変化「静岡県中部の地震活動について」参照)。また，新島・神津島周辺で断続的に地震活動が続いている(本巻別項の伊豆半島およびその周辺の地震活動「新島・神津島の地震活動」を参照)。7 月には伊豆半島東方沖で地震活動がやや活発になり，その後，いったん活動が収まったが，10 月 15 日から活発化して，昨年来の本格的な群発地震活動となった(本巻別項の伊豆半島およびその周辺の地震活動「伊豆半島東方沖の地震活動」を参照)。駿河湾内の地震活動は，この期間中，低調であった。

各月の活動状況は次の通り。

5 月：新島・神津島周辺で M4.1 と M4.2 の地震が 2 日に発生している。また，茨城県中部沖合いで，2 日に M4.8 の地震が発生している。17 日伊豆大島の南東沖で M4.1 の地震が発生した。この地域では 87 年 11 月以来の M4 クラスの地震であった。27 日静岡県中部で M4.2 の地震が発生した。

6 月：愛知県から三重県にかけて M3～4 の地震がやや頻繁に発生している。12 日銚子付近で M4.4 の地震が発生した。13 日静岡県中部で M3.2 の地震が発生した。15～16 日に新島の南東沖で，28 日には北西沖で M3 クラスの地震が集中した。

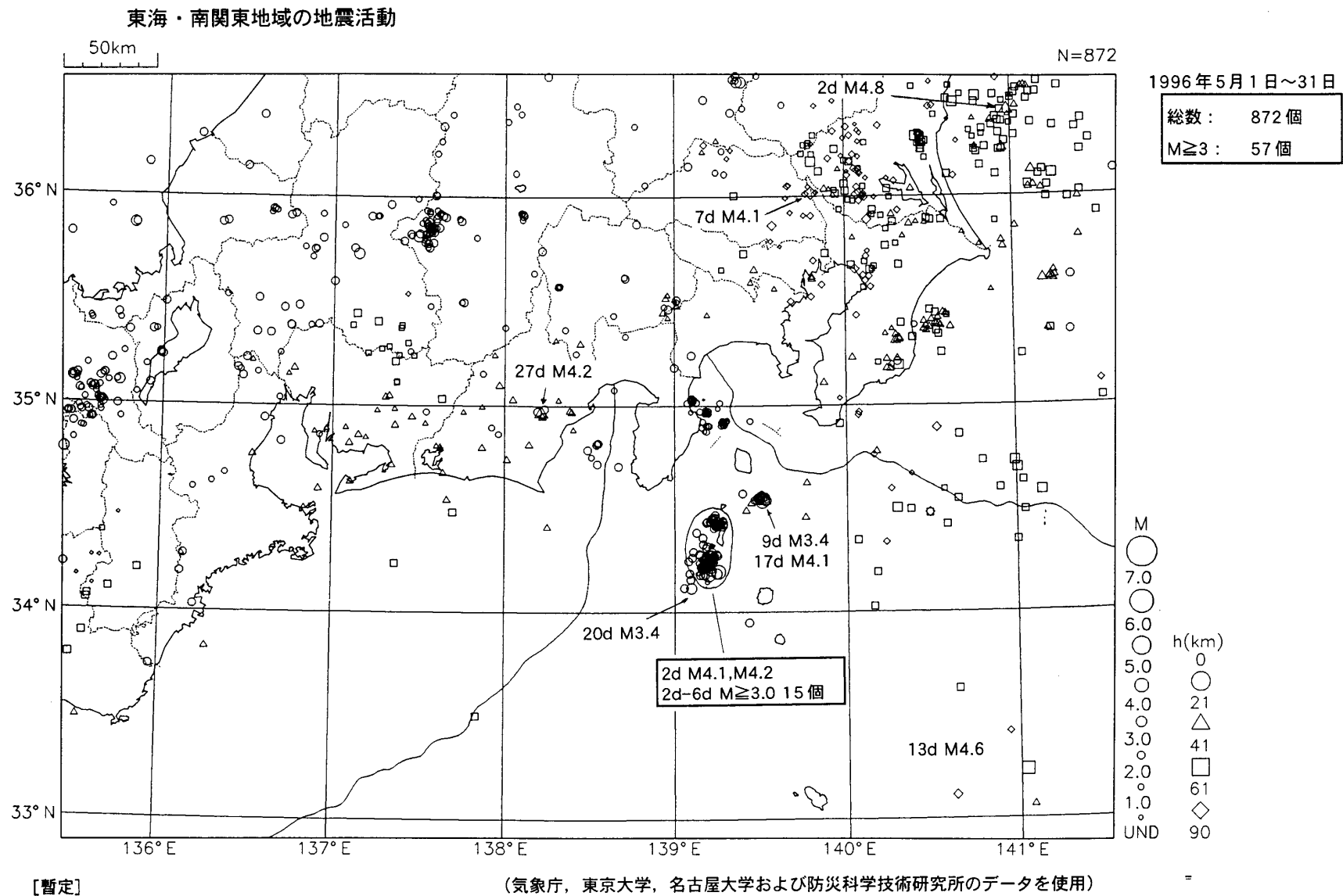
7 月：愛知県から三重県にかけて M3～4 の地震がやや頻繁に発生している。

8 月：9 日に山梨県東部で M4.6 の地震が発生した。12 日に伊豆大島西方沖で，地震が集中して発生した。山梨県東部で 12 日と 18 日に M3.6 の地震が発生した。新島周辺で活動が活発で 17 日には M4.0 の地震が 2 個発生している。16 日茨城県南西部で M4.4，21 日には銚子付近で M4.3 の地震が発生した。17 日には，銚子の沖で M4.6 の地震が発生している。また，30 日に熱海の沖で M3.2 の地震が発生した。新島・神津島周辺の地震活動は低調であった。

9 月：5 日房総半島先端の沖合いで，M4.1 の地震があった。9 日には銚子沖で M6.2 の正断層型の地震が発生した。8 月 17 日に同域で発生した M4.6 の地震は，9 日の地震と震源は近いが，逆断層のメカニズムであった。新島・神津島周辺の地震活動はこの月もやや低調であった。

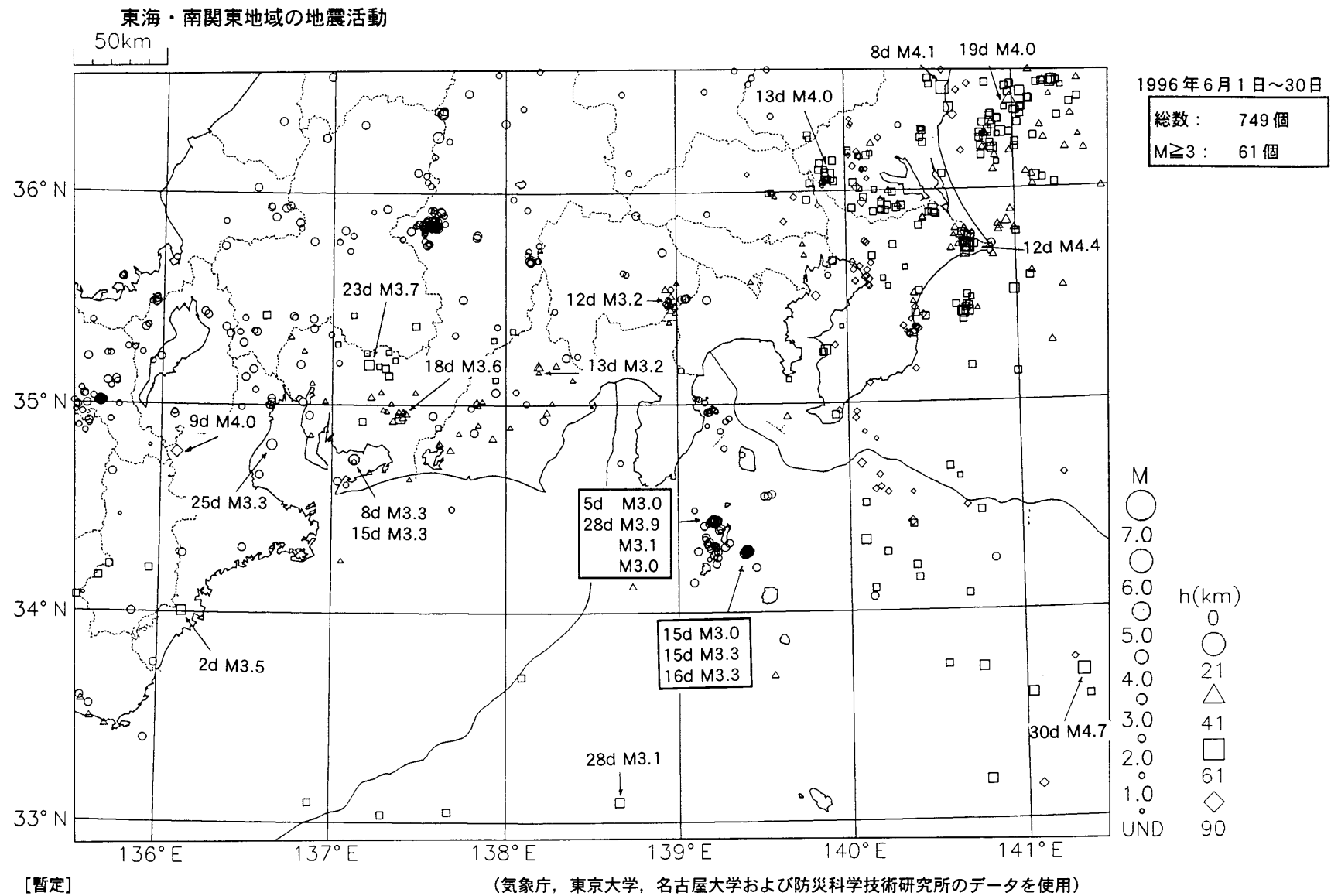
10 月：5 日に静岡県中部で，M4.4 の地震があった。12 日には埼玉県東部で M4.8 の深発地震があった。15 日から伊豆半島東方沖で，地震活動が活発になり，16 日には M4.1 の地震が発生した。19 日遠州灘で，M5.9 の深発地震が発生した。また，神津島の北部沖で地震活動が活発で，24 日に M4.4，28 日には M4.2 と M4.4 の地震が発生した。25 日に山梨県東部で M4.5 の地震があった。

第 3 図(a)，(b)は 1996 年 5 月～7 月，8 月～10 月の主な地震の発震機構解を示している。



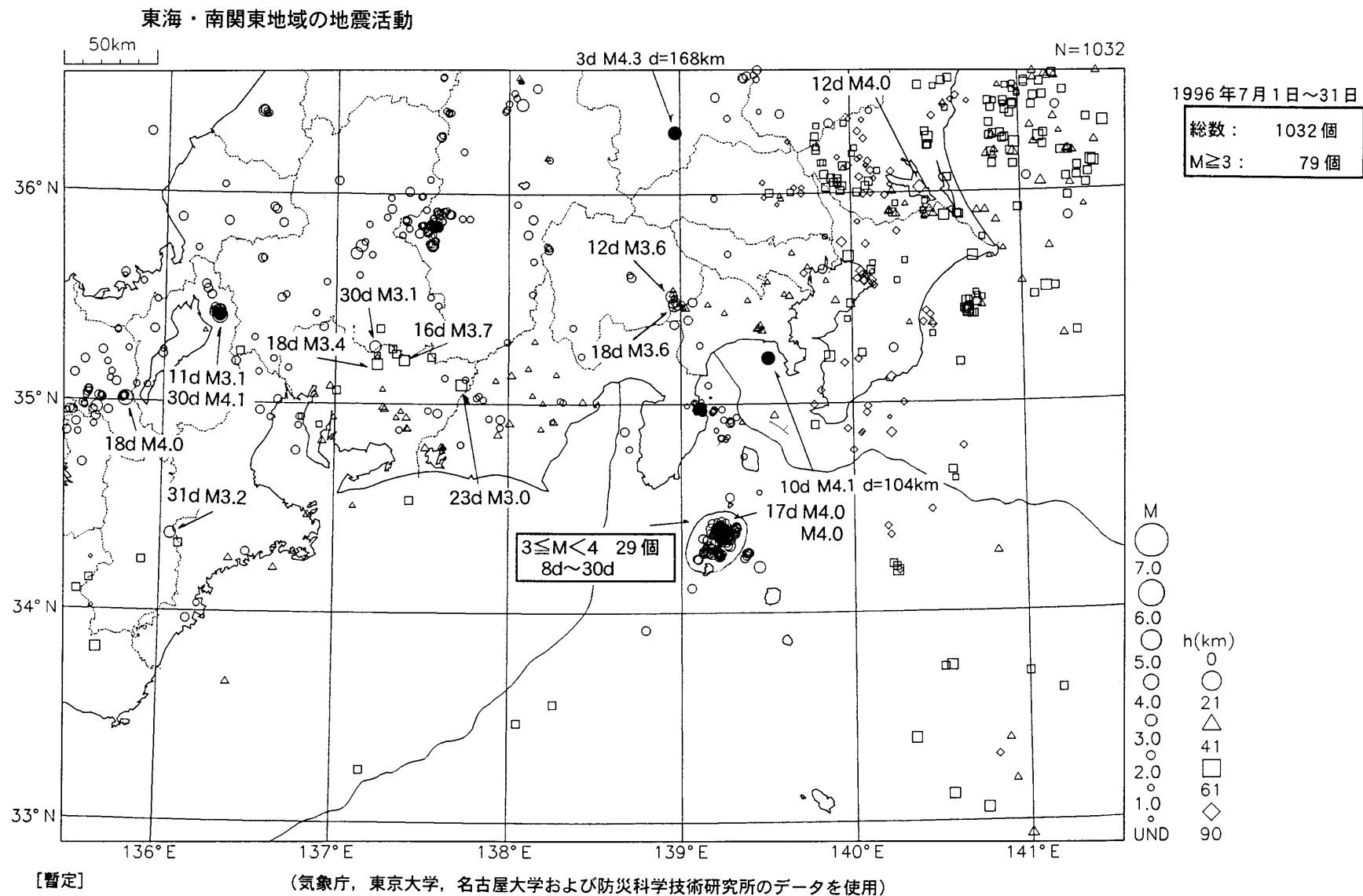
第 1 図 (a)～(f) 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布 (1996 年 5 月～1996 年 10 月)

Fig. 1 (a)～(f) Monthly earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts in the period from May to October, 1996.



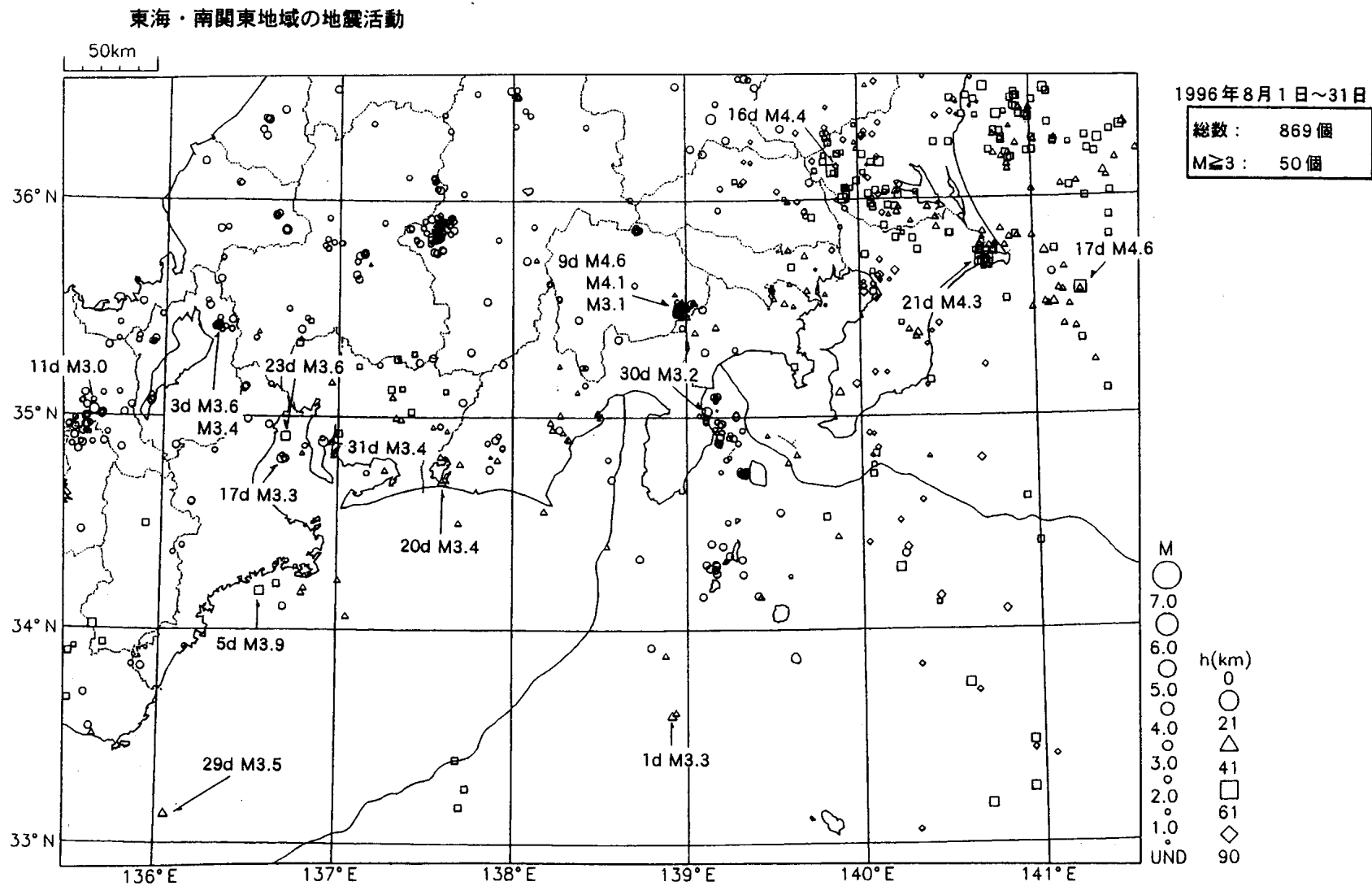
第1図 つづき

Fig. 1 (continued)



第1図 つづき

Fig. 1 (continued)



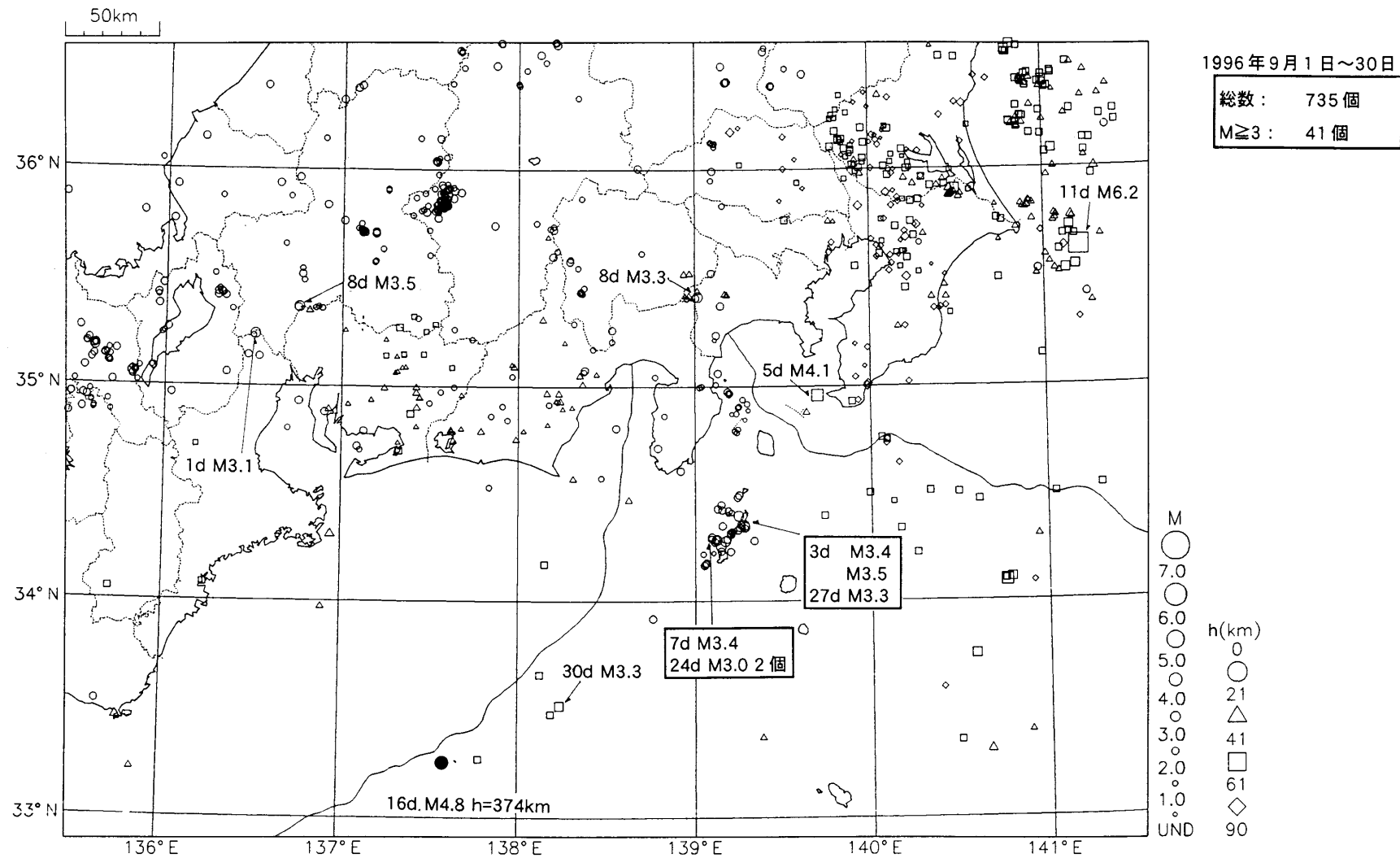
[暫定]

(気象庁, 東京大学, 名古屋大学および防災科学技術研究所のデータを使用)

第1図 つづき

Fig. 1 (continued)

東海・南関東地域の地震活動

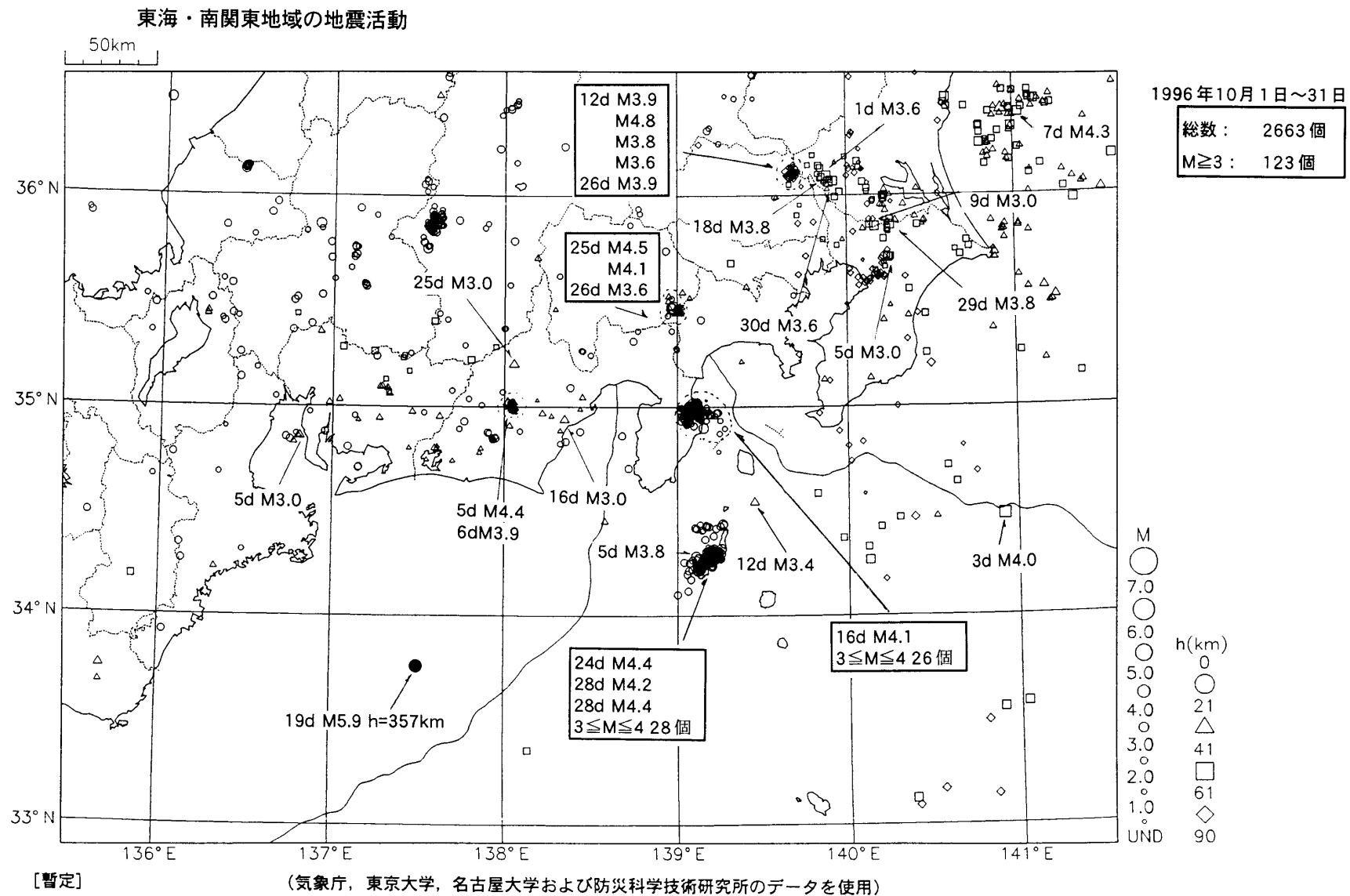


【暫定】

(気象庁, 東京大学, 名古屋大学および防災科学技術研究所のデータを使用)

第1図 つづき

Fig. 1 (continued)



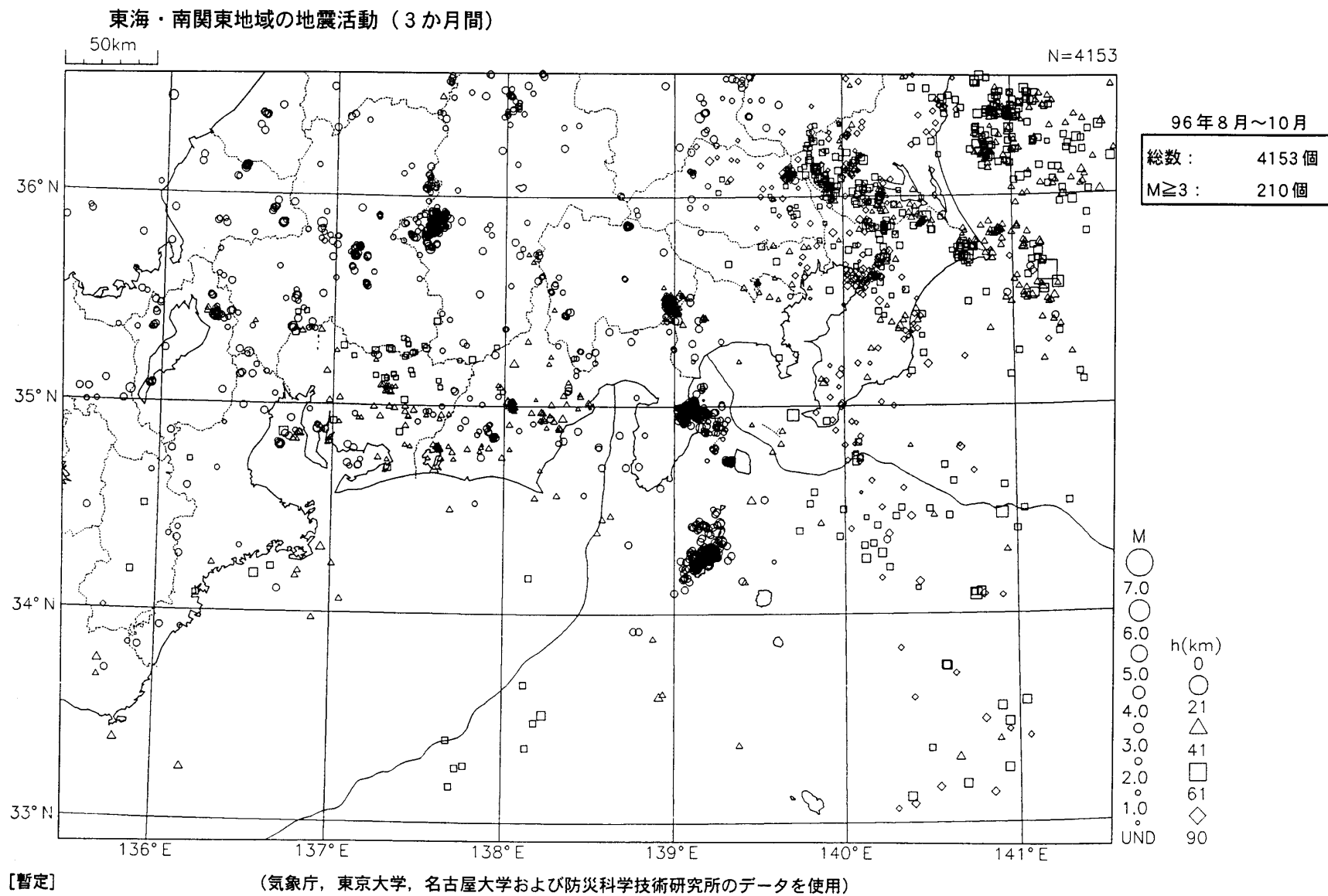
第1図 つづき

Fig. 1 (continued)

50km



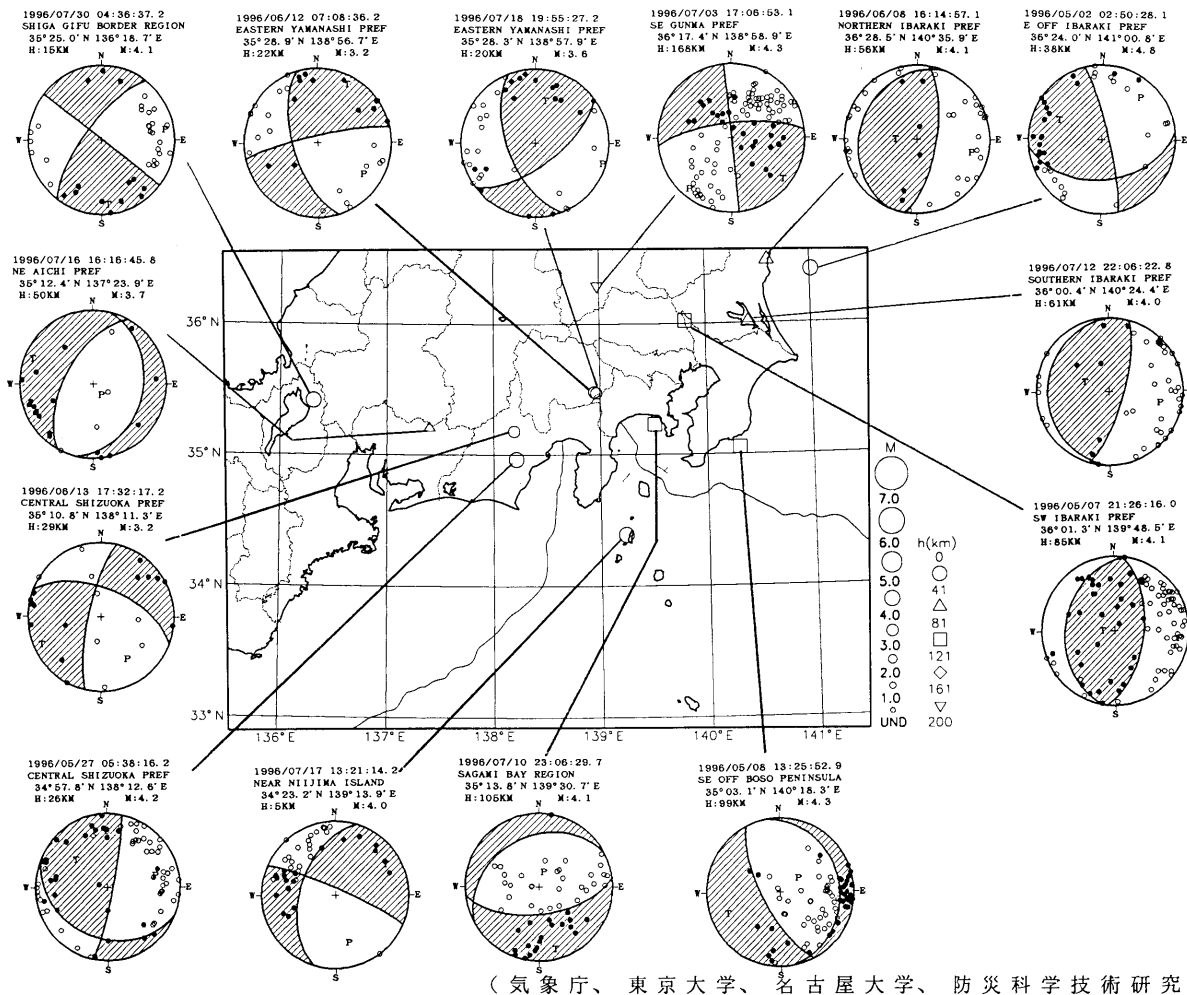
- 392 -



第2図 つづき

Fig. 2 (Continued)

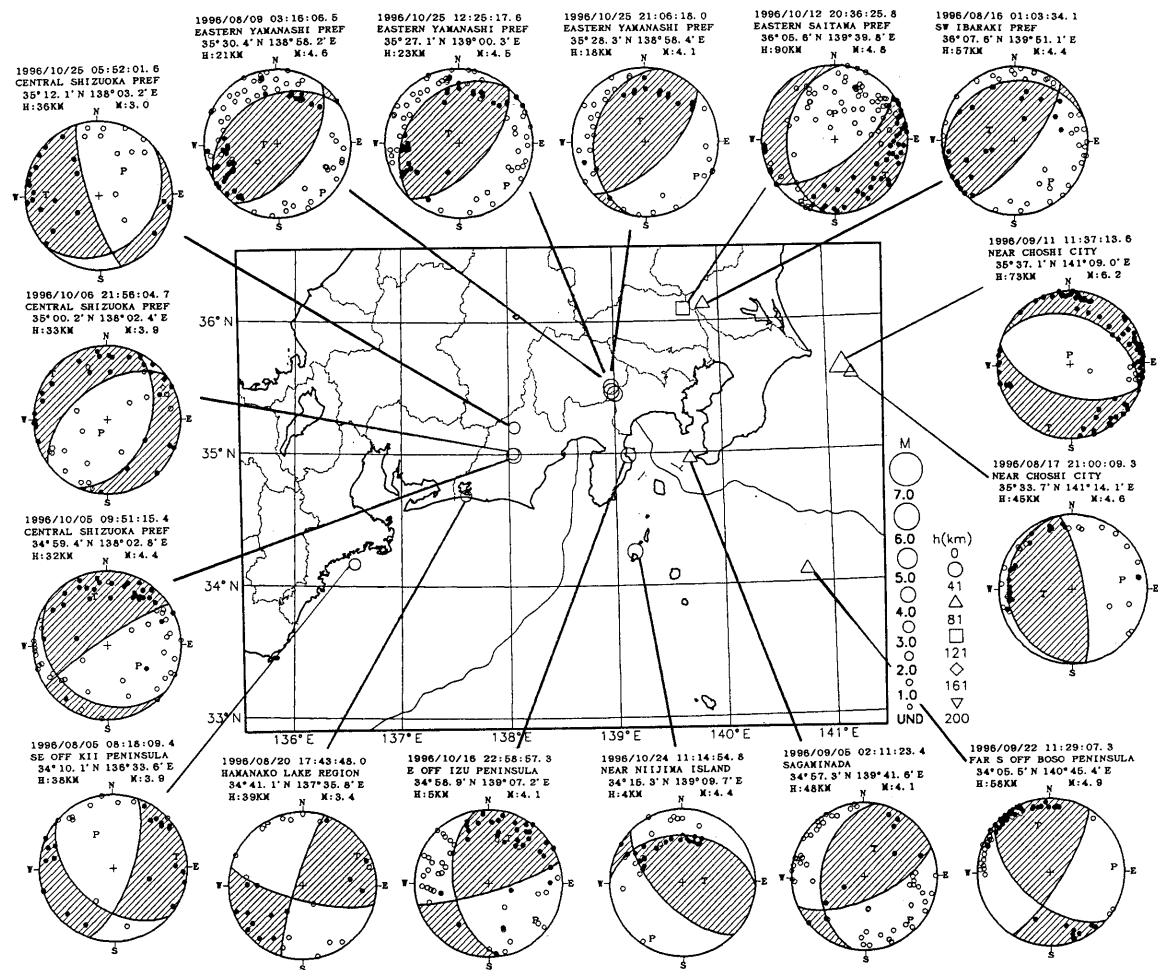
発震機構解 [暫定] (1 9 9 6 . 5 . 1 ~ 1 9 9 6 . 7 . 3 1)



第3図 東海・南関東地域に発生した主な地震の発震機構解 (a)1996年5月～7月 (b)1996年8月～10月

Fig. 3 Focal mechanism solutions of main earthquakes in the Tokai and Southern Kanto Districts. (a) May through July, 1996, (b) August through October, 1996.

発震機構解 [暫定] (1996.8.1 ~ 1996.10.31)



(下半球等積投影)

(気象庁、東京大学、名古屋大学、防災科学技術研究所のデータを使用)

第3図 つづき

Fig. 3 (Continued)